

**令和 5 年度 第 4 回
日田市地域公共交通確保維持協議会 会議録**

開催日時	令和 6 年 2 月 20 日（火）14:00～15:00
開催場所	日田市役所 4 階 庁議室
出席者 (名簿掲載順)	・日田市長 棕野美智子 ・九州運輸局大分運輸支局 首席運輸企画専門官 宗像將徳（代理出席） ・日田バス株式会社 代表取締役社長 本田哲 ・日田市タクシー協会 会長 石川尚文 ・一般社団法人大分県タクシー協会 専務理事 江熊春彦 ・九州旅客鉄道株式会社 日田駅長 今田隼 ・日田バス労働組合 執行委員長 下城実 ・日田市自治会連合会 副会長 森高重春 ・大分県西部振興局 地域創生部長 吉村一彦（代理出席） ・大分県日田土木事務所 次長兼企画調査課長 上村義一郎（代理出席） ・大分県日田警察署 地域課長 衛藤泰久（代理出席） ・日田市企画振興部長 中山敏章 ・日田市福祉保健部長 衣笠雄司 ・日田市商工観光部長 石橋直樹 ・日田市土木建築部長 松木弘和 ・日田市教育次長 高倉保徳 ・大分大学経済学部教授 大井尚司
欠席者 (名簿掲載順)	・一般社団法人大分県バス協会 専務理事 脇紀昭 ・日田市自治会連合会 副会長 橋本成人
議事	(1) 報告 ① 乗合デマンドタクシー運行時刻の変更 ② バスの日イベント ③ 神杉野線 廃止の申し出 ④ ひたはしり号 A コース長者原団地の聞き取り調査 ⑤ ひたはしり号 A コースのバス停新設 (2) 議案 ① 日田市地域公共交通確保維持協議会規約の改正 ② 日田市地域公共交通計画の進捗管理 ③ 乗合デマンドタクシー大山線実証実験継続 ④ 乗合デマンドタクシー及びお出かけ支援タクシー運行事業者の廃止届 ⑤ 乗合デマンドタクシー夜明関町線の運行内容の変更

議事概要

報告 1 乗合デマンドタクシー運行時刻の変更

〔主な説明内容〕

- ・乗合デマンドタクシー大鶴線（区域運行）を BRT の運行時刻に合わせて出発時刻を変更。
乗降車場所に「大鶴バス停」を追加。「大鶴駅」を「旧大鶴駅」へ変更。
- ・乗合デマンドタクシー大鶴済生会線（路線不定期運行）の出発時刻を乗合デマンドタクシー大鶴線の到着時刻に合わせて変更。

〔意見・質疑等〕

- ・帰りの便の接続がほとんど JR の夜明駅の乗り継ぎになっている。もちろん鉄道も大事な路線ではあるが、一方でデマンドタクシーに乗られてる方々の多くは高齢の方ではないか。夜明駅はバス停から上まで少し階段がある。BRT に接続させるということも少し考えてもよいのではないだろうか。そういった変更の予定は今後あるのか。
 - BRT に接続する便を増やすという変更は今のところ予定をしていないが、住民の要望を伺いながら考えていきたい。

報告 2 バスの日イベント

〔主な説明内容〕

- ・令和 5 年 9 月 17 日（日）に行ったバスの日イベントの概要について報告。
- ・参加者数 イベント約 800 名 体験乗車 548 名

〔意見・質疑等〕

- ・なし。

報告 3 神杉野線 廃止の申し出

〔主な説明内容〕

- ・西鉄バス久留米株式会社から、運転士不足のため、令和 6 年 10 月 1 日付けで神杉野線を廃止する旨の申し出を受けた。
- ・神杉野線は利用者が少なく運転手不足という点も考慮すると路線廃止はやむを得ないが、廃止に当たっては代替交通の整備が必要であり、その整備に時間を要することから、うきは市と連名で「路線の廃止時期を令和 7 年 4 月 1 日まで延長すること」について西鉄バス久留米へ要望書を提出する。
- ・代替交通の内容が固まり次第、直近の確保維持協議会で議案として提出する。

〔意見・質疑等〕

- ・通学で利用の需要は無いのか。
 - 自治会長や住民の方とお話しする中で通学に対する要求は無く、該当する方も今はいないと伺っているので大丈夫だと考えている。

報告 4 ひたはしり号 A コース 長者原団地の聞き取り調査

〔主な説明内容〕

- ・長者原団地は、令和 5 年 2 月 13 日のひたはしり号再編に伴い、新たに A コースでハイエース（11 人乗り）を使用して団地の奥まで乗り入れることとしていた。しかし、A コース全体の利用者が見込みよりも多く、乗客の積み残しが発生したことから使用車両をポンチョ（25 人乗り）に変更した。それにより車両が大きくなったことで団地の奥まで入っていくことができなくなったことから、団地の入り口で転回するよう運行ルートを変更したところである。
- ・しかしながら、住民の一部から団地の奥へ乗り入れてほしいとの要望があったことから、利用者の声を聴くために戸別調査を実施したため、その結果を報告する。

- ・ひたはしり号を利用している方からは、奥まで乗り入れてほしいという強い要望は無かったため、現行どおり団地入口での転回とする。

〔意見・質疑等〕

- ・なし。

報告 5 ひたはしり号 A コースのバス停新設

〔主な説明内容〕

- ・令和 6 年 6 月頃に、ひたはしり号 A コース路線沿い（中ノ島町）に新たな商業施設がオープン予定であり、当該施設敷地内にバス停を新設する方向で検討を進めている。
- ・具体的な実施時期やバス停の新設場所、運行時間の変更などの詳細については後日改めて確保維持協議会に議案として提出する。（書面開催予定）

〔意見・質疑等〕

- ・なし。

議案 1 日田市地域公共交通確保維持協議会規約の改正

〔主な説明内容〕

- ・道路運送法の改正に伴い日田市地域公共交通確保維持協議会に「運賃料金部会」を設置する。

〔意見・質疑等〕

- ・なし。

〔審議結果〕

承認。

議案 2 日田市地域公共交通計画の進捗管理

〔主な説明内容〕

- ・日田市地域公共交通計画の目標達成に向けた施策及び取組の実施状況などを報告し、次年度以降の取組に反映する。

〔意見・質疑等〕

- ・この計画はまだ 1 年目ということで 5 年間これからやっていかないといけない。通常、事業評価を行う際、上手く進んでいない部分の理由付けは力を入れるが、成果が出ているところの分析がおざなりになっているケースが多い。伸びているところがなぜ伸びているのかという部分をしっかりと考えてもらいたい。これは、他の地域で利用促進を訴えていく場合にすごく大事になってくる。協議会の中で定期的に交通事業者の利用状況の報告等も継続していただきたい。
- ・基本方針 2 の今後の取組・方向性の欄に観光案内所が大山にできるとあり、振興局のあたりだと伺っている。この周辺の国道は歩道がなく道幅が狭いのだが、こちらで観光客に自転車を貸し出すというのであれば、サイクリングロード等の整備が必要ではないか。
 - 大山振興局の前に作る案内所で、レンタサイクルを今後行おうと観光協会の方と話を進めているところである。ルートとしては国道をなるべく通らないで川沿いの道路を歩いて水辺の

里やダムの方に行くようなルートを提案して行きたいと考えている。

〔審議結果〕

承認。

議案 3 乗合デマンドタクシー大山線実証実験継続

〔主な説明内容〕

- ・令和 5 年 8 月 1 日から実施している乗合デマンドタクシー大山線の実証実験について、対象地域の拡大等の要望があり実験が十分ではないため実証実験を 1 年間延長する。

〔意見・質疑等〕

- ・なし。

〔審議結果〕

承認。

議案 4 乗合デマンドタクシー及びお出かけ支援タクシー運行事業者の廃止届

〔主な説明内容〕

- ・天瀬地域の乗合タクシーを運行している有限会社天瀬観光が、令和 6 年 3 月 31 日付けで事業を廃止予定であるため、道路運送法第 38 条第 1 項の規定により一般乗合旅客自動車運送事業の廃止を届け出るもの。
- ・天瀬地区の乗合タクシーは日田市タクシー協会へ運行を委託しており、令和 6 年 4 月 1 日からの運行については、日田市タクシー協会に所属する事業者が引き継いで運行する。

〔意見・質疑等〕

- ・タクシー協会の事業者で運転手は確保できるのか。
 - 少なくとも 1 社は対応いただけると聞いている。
- ・天瀬の乗合デマンドタクシーはタクシー協会が引き継いで運行をするという形で地域に説明してもよいか。料金の変更等はあるのか。
 - 利用料金については変更の予定はない。地域への説明については、事業者が従業員にお知らせをしておらず地域にお話がまだできない状況となっている。1 ヶ月前までには従業員にも伝えないといけないため、3 月に入れば地域に話ができると考えている。

〔審議結果〕

承認。

議案 5 乗合デマンドタクシー夜明関町線の運行内容の変更

〔主な説明内容〕

- ・乗合デマンドタクシー夜明関町線（新治生協行き）は、1 日 2 往復の運行をしているが、往路の利用に比べて復路の利用が少ない状況にある。その理由として、復路の便が午後しか運行しておらず、その便を利用するためには買い物や病院で用事を済ませた後、長い時間待つ必要があるという点が挙げられていることから、復路に午前中の便を 1 便追加する。

〔意見・質疑等〕

- ・デマンドタクシーの1日当たりの便数は2便や3便などと決められていると思うが、このようなパターンにすることに対して市の制度としては問題がないのか。また、実績を見ると13時台の便より15時台の便の利用者が多い。今回新たな便を作ることによって13時台の便の利用者が減ってしまったという場合に、見直しをする余地はあるのかどうかを伺いたい。
- 日田市におけるデマンドタクシーの便数は各路線によってバラつきがあり、決まった便数で設定しているものではない。今回は利用実態に合わせて変更を提案したところである。帰りの便を1便増やすことで午前中の便に利用が集中し、今の13時の便が少なくなった場合の見直しの余地というところでは、利用実態を見ながら利用が少なくなれば廃止ということも検討したいと考えている。

〔審議結果〕

承認。

その他 市内公共交通の現状

〔主な説明内容〕

- ・日田バス株式会社、日田市タクシー協会、九州旅客鉄道株式会社から近況を説明。

以上